

平成 29 年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会 イノベーション教育（グローバル・ICT 活用）研究部会 実施案内

一般財団法人私学研修福祉会 主催
一般財団法人日本私学教育研究所・工学院大学 協力
日本私立中学高等学校連合会 後援

◆研究のねらい◆

未来をつくる教育を目指して ～進化する AI をどう活用するか～

当部会では、急速に変化するグローバル社会の中で世界に先駆けて私学が教育の先鞭をつけて行くために、教育のイノベーションを研究することを目的としている。平成 28 年度は、アメリカ・シリコンバレーで IT 企業、現地校を視察し IT 先進国における先駆的な教育を目の当たりにした。

これを受け、本年度は教育の新しい道を模索するべく、人工知能研究者とプログラミング教育の実践者を迎えて研修を行う。

東ロボ(ロボットは東大に入れるか)プロジェクト英語班研究者である工学院大学・情報学部の大和淳司教授の基調講演により、AI の現状と今後の進化の道筋について具体的な情報を得、AI 研究の現状を正しく理解し、AI の進歩をチャンスにかえる教育へとつなげたい。

また、AI を理解し活用するためにも、プログラミング教育の役割は重要である。低学年からでも習得が容易なビジュアル言語、ビスケットの開発者である原田康德氏を迎えて、プログラミング教育の意義と価値についての講演を行う。

これらの講演を受けての講師らを交えたパネルディスカッション、意見交換会を通して、AI はどんな新しい価値を生み出し教育に反映されているのか、プログラミング教育はどうあるべきか、生徒たちや教員らが直面する未来の学びと働き方などについて、意見を交わし、考察を深めていく。未来をつくる教育のために AI をどう活かすのかを探究する一助となれば幸いである。

◆会 期◆ 平成 29 年 9 月 25 日（月）

◆会 場◆ 工学院大学新宿キャンパス 3 階「アーバンテックホール」 東京都新宿区西新宿 1-24-2

※JR・京王・小田急新宿駅下車西口より徒歩 5 分

◆募集人数◆ 50 名（先着順）※募集人数をこえた場合は期日前でも締切りとなることがあります。

◆参加対象◆ 理事長、校長、副校長・教頭、グローバル教育担当、ICT 教育等担当及び一般の教員

◆参加費◆ 15,000 円（昼食費は含みません）

◆基調講演◆ 講師 大 和 淳 司 工学院大学情報学部ヒューマンインタラクション研究室（システム数理学科）教授

◆講 演◆ 講師 原 田 康 徳 合同会社デジタルポケット代表／ビスケット開発者／ワークショップデザイナー

◆日 程◆

	10	11	12	13	14	15	16	17
	30				30	45	45	
9月25日 （月）	開 会 式	基調講演	昼食	講演	パネル ディスカッション	意見交換会	開 会 式	

※昼食は各自でおとり下さい。会場内でのご飲食はできません。

◆基調講演◆

☆演題「人工知能を識る：中の仕組みと得意・不得意」

講師 大和 淳司（やまと じゅんじ） 工学院大学情報学部ヒューマンインタラクション研究室（システム数理学科）教授

1988 年東京大学工学部精密機械工学科卒、1990 年同修士課程了。1998 年マサチューセッツ工科大電気工学及びコンピュータ科学科修士了。1990 年 NTT 入社。NTT ヒューマンインタフェース研究所、MIT 人工知能研究所、NTT コミュニケーション科学研究所にて画像認識、ロボット視覚等の研究に従事。2001 年日本電信電話（株）第三部門 R&D ビジョン担当課長としてユビキタスサービス戦略策定。2003 年より NTT コミュニケーション科学基礎研究所にてメディア認識研究実用化、対話シーン分析研究、対話ロボット研究等に従事。2016 年より工学院大学情報学部教授。対話ロボット、多人数対話分析、東ロボ英語班にてイラスト問題解法などの研究を進めている。博士（工学）。電子情報通信学会フェロー。IEEE、ACM、人工知能学会各会員。

◆講演◆

☆演題「プログラミング言語ビスケットが目指すプログラミングのバリアフリー」

講師 原田 康徳（はらだ やすのり） 合同会社デジタルポケット代表／ビスケット開発者／ワークショップデザイナー

1992 年北海道大学大学院情報工学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。同年日本電信電話株式会社 NTT 基礎研究所に入所。2015 年まで NTT コミュニケーション科学基礎研究所。その間、1998 年－2001 年 JST さきがけ研究員、2004 年－2006 年、2011 年－2013 年 IPA 未踏ソフトウェア創造事業プロジェクトマネージャを兼務。2003 年にビジュアルプログラミング言語ビスケット開発、以降2万人を超える子供達にビスケットのプログラミングを通じて、コンピュータの可能性と楽しさを伝えている。2015 年 NTT を退職後、合同会社デジタルポケット設立。

◆パネルディスカッション・意見交換会◆

☆テーマ「未来をつくる教育の実現に向けて」

- ・AI はどんな新しい価値を生み出し教育に反映されているのか
- ・プログラミング教育はどうあるべきか
- ・生徒たちや教員らが直面する未来の学びと働き方

パネリスト 大和 淳司 工学院大学情報学部ヒューマンインタラクション研究室（システム数理学科）教授

パネリスト 原田 康徳 合同会社デジタルポケット代表／ビスケット開発者／ワークショップデザイナー

パネリスト （調整中）

コーディネーター 岡部 憲治 工学院大学附属中学高等学校 教諭／カリキュラム・マネジメント・リーダー

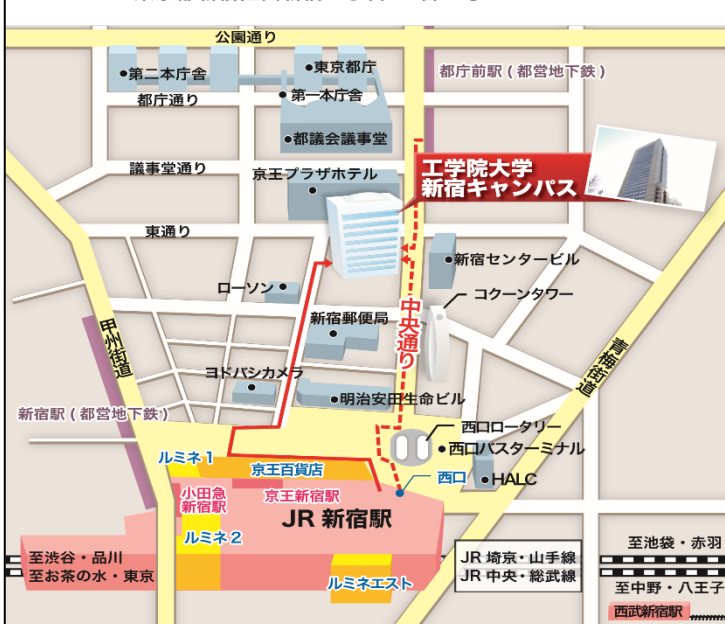
パネルディスカッションでは、パネリスト3名が、各人の立場からショートプレゼンテーション等で意見を述べ、フロアとの意見交換を行う。また、意見交換会では、視野の拡大と知識の充実を図るとともに、我々はAIの進化にどのように向き合い、その可能性をこれからの教育にどのように活かしていくのか、AI社会の未来を切り拓いていくために、生徒たちと私学の教育者は何をすべきなのか、自ら考える契機を提供する。

※プログラムの内容等は変更となる場合があります。

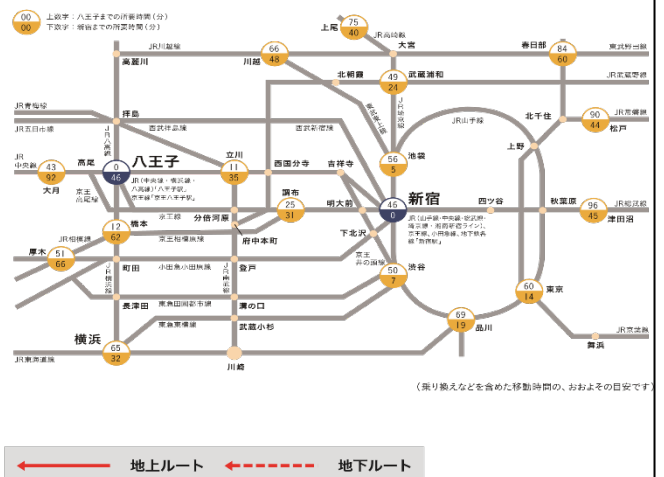
◆会場案内 [工学院大学新宿キャンパス](#)

※JR・京王・小田急新宿駅下車西口より徒歩5分

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1丁目24番2号



- JR「新宿駅」下車、西口より徒歩5分
- 京王線、小田急線、地下鉄各線「新宿駅」下車、徒歩5分
- 都営大江戸線「都庁前駅」下車、徒歩3分
- 西武新宿線「西武新宿駅」下車、徒歩10分



◆講師・指導員（順不同）◆

佐藤 光 史（工学院大学 学長）
大和 淳 司（工学院大学情報学部ヒューマンインタラクション研究室（システム数理学科）教授）
原田 康 徳（合同会社デジタルポケット代表／ビズネット開発者／ワークショップデザイナー）
岡部 憲 治（工学院大学附属中学高等学校 教諭／カリキュラム・マネジメント・リーダー）
吉田 晋（富士見丘中学高等学校 理事長・校長）
中川 武 夫（一般財団法人日本私学教育研究所 所長）

◆専門委員・客員研究員（順不同）◆

平方 邦 行（工学院大学附属中学高等学校 校長）
大羽 克 弘（千葉英和高等学校 理事長・校長）
須藤 勉（東京私学教育研究所 所長）
山中 幸 平（学校法人山中学園 理事長）
山崎 吉 朗（一般財団法人日本私学教育研究所 主任研究員）
川本 芳 久（一般財団法人日本私学教育研究所 事務局長）

◆参加申込み方法 ◆

1. 「参加申込書」に必要な事項をご記入の上、下記申込み先に FAX または郵送でお送り下さい。
お電話での申込みは受け付けません。

①申込み先

一般財団法人日本私学教育研究所・私立学校専門研修会係 宛
〒102-00073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷 UN ビル6階
TEL 03-3222-1621 FAX03-3222-1683 ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

②申込み締切日 平成29年9月19日（火）必着

2. 申込みは先着順に受け付けます。**募集人数をこえた場合は期日前でも締切りとなる場合があります。**
（申込みを締め切った場合は当研究所ホームページでお知らせいたします。）
3. 参加申込書受付後、「参加確認証」および「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。
「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。
※申込み後、2週間以内に上記の書類が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

◆参加申込後の手続きおよび注意事項 ◆

1. 参加費（15,000 円）は、「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」払込用紙で、指定されたコンビニエンスストアでお振り込み下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。
2. 参加申込み後のキャンセル・欠席等については、**必ず FAX** にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。
①キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信いたします。
②変更の場合は、「参加確認証（再発行）」を郵送いたします。
ご連絡後に上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。
3. 参加費の返金・キャンセル料は下記の取り扱いといたします。

9月19日（火）迄のご連絡	9月20日（水）以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金いたします。	参加費の返金はできません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料をして全額（15,000 円）を申し受けます。天変地異や自然災害によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

◆個人情報の取扱いについて ◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用いたします。

●傷害保険について

本研修期間中の参加者等の傷害保険には、加入いたしませんのでご承知置き下さい。

平成29年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会
イノベーション教育【グローバル・ICT活用】研究部会
参加申込書

平成29年__月__日

参加者氏名	(ふりがな)	職 名
	男 女	
参加者連絡先	☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号、自宅電話番号等をご記入下さい。	
メールアドレス*		
参加者氏名	(ふりがな)	職 名
	男 女	
参加者連絡先	☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入下さい。	
メールアドレス*		

*今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。
◎3名以上の申込みの場合は本申込書をコピーしてお申し込み下さい。

学校名			
	学校区分	1. 中学校 2. 高等学校 3. 中高併設校 4. 中等教育学校 A. 男子校 B. 女子校 C. 共学校（含む男女別学校）	
学校住所	〒		
	TEL	()	FAX ()
※上記参加者本人または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先・受取人氏名をご記入下さい。			
アンケート	講師・パネリストへの質問事項等がございましたら下記にご記入下さい。		
	※時間の都合上、ご記入いただいた質問に回答できない場合もございますのでご了承下さい。		
通信欄			